

平成27年度 見附市道徳部 活動報告

部長 南雲文子

1 研究主題

今後の道徳科の授業について、その効果的な指導方法の実際を模擬授業等から学ぶ。

2 研究の概要及び研究の実際

(1) 期 日 平成27年9月30日(水)

(2) 会 場 見附市立上北谷小学校

(3) 内 容

< 講 師 > 上越教育大学大学院 教授 早川 裕隆 様

① 講師による模擬授業 14:30～15:15

授業学年 見附市立上北谷小学校 6年生

主題名 家族を深く信頼して [内容項目 15 (C) 家族愛、家庭生活の充実]
(資料名 「おばあちゃんのさがしもの」 おち とよこ作/岩波書店…一部改作)

② ご講話 15:30～16:30

「道徳科の授業とその効果的な指導方法」

～即興的に演じる役割演技の意味や効果を中心に～

3 成果と課題

(1) 成 果

今回の研究をとおり、道徳授業を行うにあたり、次のような大切な視点を学ぶことができた。

① 資料について

- ・教師が読む。必要に応じて、資料は区切って読む。
- ・資料は、生きていくにあたり「大切な問題に出会わせる」ためのものであるから、資料の選択が大切である。

② 指名について

- ・早川先生は、いっさい挙手は求めなかった。「あなたの考えを聞かせて。」というメッセージのこもった言葉で、子どもたちの発言を引き出していた。

③ 役割演技について

- ・みんなの前に出て演じた児童は、「主人公になりきって主人公の気持ちを考えることができた。」また、「たくさん考えて自分の気持ちを自分なりの言葉で伝えられてよかった。」と振り返っている。このことより、自分の気持ちを考えるにあたり、役割演技がいかに大切かを教えてもらった。



(2) 課 題

「授業の実際」及び「役割演技を中心とした効果的な指導方法」を学び、そして、平成30年度からの検定教科書を導入した「道徳科」への方向について研修を行うことができた。今後、研究に参加した道徳主任のリードで、各校の道徳授業をさらに充実させていきたい。

